

發行編輯人 川崎文治
印刷所 常盤每日新聞社

常盤新聞

定一部式錢 五錢
廣告 五錢
印刷 五錢
電話 三三三番

福島縣石城郡平町長崎町廿五番地

刊夕日九月十

家賃

仲間町 賃拾貳圓
商店向 賃四圓
住宅向 賃拾圓
白銀町 賃拾圓
紳士住宅向 賃拾圓

平町白銀町
加藤營業所
電話三三三番

五丁目十一番
宅地百六十二坪

地賣

澤山揃ひました
ガクセイ服

二年生用 四四〇〇
三年生用 四四〇〇
四年生用 四四〇〇
五年生用 四四〇〇
六年生用 四四〇〇
中用 五〇〇〇
警城平(電二三番)より

なにかや洋服店

萬年瓦

萬年瓦工業株式會社
福島縣四倉町
電話三八番

鐵道省 御指定
仙台高等工業學校 試驗證明

各種流行新柄入荷

流行新柄の秋物及び冬物防寒品
澤山揃ひました

どうぞお早く

平町一丁目(電話一一七番)
仙台屋吳服店

社説

淺薄なる研究(十四)

川崎文治

此種營利會社の往々にして其職務を履行しない例は世間に決して乏しくない、一度平町が此運命に逢着するや或は之を法術に訴へ、又は之を上司に陳情するも解決を見るには幾多の日數を要する爲めに、其間町民として飢渴に瀕せしむるの憂慮に耐わざる一大事を現出する事は必然であつて其實害の及ぶ處は寔に寒心に堪へないものがある。平町の近郊に發電所を起し然も地方人士に依つて經營せらるる

る事は町民の最も望む處である、然れども平町の住民であつて然も平町の不利を顧みない企業は全く私利に眩惑して公益を無視するの行爲と云はねばならぬ。電氣會社が既に自ら大瀧發電所の許可權を拋棄した事は世間周知の事實である、然るに研究會が權利拋棄の會社に對し前記一から五迄の要求を爲したの何等の意義を有せずと確信するに憚らない。惟ふに研究會は平町少數有志の組織に依り現に責任者たるの會長もなぐ又其事業の目的を規定せず内容は頗る漠然として居るに拘らず町百年の大計に

關於重要事項を研究する爲し、漫然平町と反對の地位に在る平電氣會社に對して單獨の要求を爲したるが如きは輕舉も甚だしく又實に越權の處置と云ふを得べく殊に何等斷定的なる確信を有しない意見書なるものを平全町に亘つて散布し人々を煽惑せしむるが如きは是れ平地に波瀾を起すの基であつて舉むべき行動として識者は決して是認しないであらう、此點は是非反省を望まねばならぬ。

研究會の意見書に對する吾人の主張は右の如くであつて忙中連日に亘つての御精讀を謝し一先づ筆を置く事とする(完)

移轉廣告

前略當社は各位の御引立を蒙り日に月に發展致し候爲め從來の營業所にては不便尠からず依つて十月一日より左記へ移轉仕候間今後も倍舊の御援助願上候

平町南町郡役所前通り
東京恒産會社磐城支社

自轉車購買會

今回は何時でも御入會が出来升

惠比壽屋商店
平南町(電話呼三四四番)

青沼醫院

平町城山(舊城跡)三の九

内科 小兒科 皮膚科 花柳病科

醫學士青沼淡夫
電話四〇三番

常盤屋時計店

ツバメ印レコード
會社と海岸線一手
特約祝として向ふ
二ヶ年間同印兩面
レコード一板一圓
宛で差上ります
(毎月新譜取揃有)
平一丁目電話三三三九番

レコード	80
オリエンキ	90
オヒコ	1.20
ワツフ	1.20
ツバメ	1.20

草花種子入荷

「秋時の草花種子が澤山入荷致しましたから是非御覽下さい」

横濱植木會社特撰
スキートビー、カーネーション、ベチニヤ、キンダー、パフ、パンジー、フロックス、ゴアチヤ、キヤツチフライ、其の他數十種

一袋拾錢

平町四丁目
マツモツ子園
電話二番

株式賣買中値

電話に金融致し

銘格	拂込	時價
警城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
警越銀行	一一五	一〇五
警城實業	五〇〇	四二〇
警城實新	三〇〇	二八〇
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四五
同新	一五〇	一八八
百七銀行	五〇〇	五五〇
同新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	四〇〇
同新	二五〇	一九〇
只見川電	一一五	一七五
植田水電	一一五	一五五
好間水電	一一五	一三五
警城建物	一一五	一五〇
警城製菓	二〇〇	二五〇
平信託	五〇〇	二五〇
警城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二六〇
平製水	二五〇	一八〇
好間軌道	五〇〇	三〇〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一五〇
警城炭礦	五〇〇	四二〇
同新	二二五	一八〇
警城セメン	五〇〇	六二五
同新	三三〇	四二〇
平運送	一一五	八〇

平町田町 電話三三三番
丸登株式會社
川添房二郎

米質が悪變するから刈取期を遅らすな

石城地方の通弊を憂へ 郡農會から注意

石城郡に於ける稲作の諸作業期節が著しく遅延し殊に刈取期節の如きは適期を失する爲めに作業が困難を極むるのみか米質悪變して樹減り多く藁は其効力を失する等損害の程度頗る大なるものある爲の郡當局は適期に刈取らしめんと左記の注意書を發したと

(收穫の適期)穂の全部黄色になり穂首即ちみこの部分黄色となりし時は直ちに刈り取る事(倒伏稲の處理)倒伏稲は速かに刈取るべく温氣を受くる場合は發芽する事あり排水不良の場所(早目に)

半驛御通過

本日(久遠宮) 閑院宮殿下は今晚下り急行にて平驛御通過に相成つたが更らに本日は久遠宮殿下が午後十二時五十分平驛を御通過遊ばされ仙台に御出向なされた

刈取りを行ひ排水溝を設け田面の乾燥を計るべし殊に二毛作田に於て然り(乾燥)本郡産米は其乾燥頗る不良にして弊價の向上せざるは遅滞りして同様に架乾燥を行ひ土面乾燥の如きは避けしむべし(採種田)殊に適期を失せざる様注意し乾燥充分ならしむべし

埋立無償交付

石城郡小名濱町の鈴木町長及び

盆暮の贈答を廢す

謙田町協議

平町宇録田町にては五日同區委員及び青年團員が樂天地に集合し盆暮等の贈答を廢し葬儀の手傳へは一戸一人限り爲すべきを協議決定した

平電氣の重役が出獄

残るは栗原

平電氣不正事件にて收監されつつあつた同會社重役大和田安太郎氏は昨日午後三時頃保釋出獄を許され九日

常磐片々

未決房に栗欣獨り黙然として居る、尻ぬぐいの惣勤定をして來る氣か

明日から東京大相撲の櫓太鼓天下泰平國家安穩と鳴り響く、時に米實る秋

鎌田町にて盆暮の贈答品廢止を決議、他町はどうか

小署野犬撲殺の計劃成る、野犬共此警鐘の記事が讀むる故に其難を免れ難し

讀むべきものは新聞也

夕刻には同専務野崎滿藏氏外酒井猶次、馬目雄次郎兩氏が出獄し残るは栗原欣次郎氏一名である

小川組合有望

石城郡有限責任小川信用組合は

日頃鍛へた鐵腕の物スゴさを試さん

平實業のリーグ戦

空高く熱球カッスを飛ばす

平町に於ける野球熱は異常な旺盛を來し各方面にチームの数も仲々に多いが同町の實業野球團とも稱すべき山崎、遞友、銀星、みどり朝日、田町のチームは日頃鍛へた鐵腕の物凄さを試さんと十二日から弊中新グラウンドに於てリーグ戦の戦端火を放つ勇猛振りに秋空高く熱球をカッ飛ばす由で來月九日午後よりの決勝戦に優勝の凱歌を奏し新らたに調製した銀カッを手にするは果して何れの俱樂部か今からファンを躍らして居る因にリーグ戦日割は左記の通り、

(十二日)午前九時山崎對遞友、正午銀星對みどり、午後二時半山崎對朝日、



女や子供にできる小商

(上)

商賣を始める時には、まづ左の條件を充分考慮してか

支柱倒れて坑天井落つ

坑夫の惨死

石城郡好間村大字上好間字小館居住安達朝日村生れ探炭夫桑原宗利(三)は去る六日午後七時半頃妻キクと共に押し來つたトロ脱線し支柱に衝突した爲め支柱倒れて坑天井落下し宗利は押し潰され妻キクは右大腿部及び足關節に打撲傷を負ふ注射し撲殺に

犬共恐れ入る

狂犬病の豫防

狂犬病の撲滅に關しては平署に於て種々方策を講じつゝあつたが所期の目的を達し得ないので今後野犬掃蕩及び畜犬の整理を徹底せしむべく先づ來月中旬頃より畜犬全部に對し豫防注射を行ふと同時に野犬を撲殺する由

畑荒し捕る

嫌疑者數名

石城郡飯野村及び鹿島村方面の畑作物を頻りに窃取する者あるため平署にて嚴戒中本日數名の嫌疑者を引致した

らなければなりません。(一)資本が僅かですたりの少いもの(二)二家庭で誰にもできるもの(三)かけ引や専門的の手腕を要するものや、營利一方のものは避けること(四)土地、場所、客種、をよく調べてそれに適當したものを選ぶこと(五)品物の仕入の仕方を研究してからにすること、等ですがいよいよ始めるとしてその商賣を繁昌させるには、各商賣によつてその目に見えない秘訣のあることは勿論ですが大抵右の注意のもとに、臨機應變の手加減をすれば先づ失敗はありませんまい。あとの詳しい事は明紙上にて申上ます、

前景氣盛んな東京大角力

讀者は三割引

既報朽木山常の花一行の東京大相撲は愈々明日及び明日の晴天二日間櫓太鼓賑々しく元公會堂傍らの空地にて興業する筈であるが久し振りに肉弾相撲の快烈なる國技が見られる事として前景氣は非常なもので各種團體の總見等既に陸續として申込あり殊に一行中には身長六尺八寸、体量四十七貫の大男出羽ヶ嶽も交る事として人氣は全く集中された觀がある、因に本社は同一行の勸進元に交渉し讀者の

貸し座敷を建てたい陳情

小名濱町に

石城郡小名濱町は漁港として將來發展の地であるが貸し座敷がない爲め私娼跋扈して青年の風紀を紊す事おびたしいので同町飯塚榮一郎氏は七日出縣し貸し座敷建設の陳情を爲した

讀者割券

十日及び十一日の晴天二日平町にて

讀者割券

十日及び十一日の晴天二日平町にて

軍隊を見學

湯本青年團が

石城郡湯本町青年團員は十二日軍隊見學の爲め仙台市に向ふ

小川佛教講演

石城郡下小川村大字下小川安養寺に於て佛教講演會を開き智山派大本山布教師安西齋

募集

文藝其他一般稿を募集し

平消防役員會

平消防組にては八日午後一時から住吉屋支店にて役員會を開き秋季の檢閲に關して協議したと